

教弘さが 友の会だより



弓張の丘ホテルにて

目次

佐賀支部長あいさつ……………	2
ふれあい食事会……………	3
研修親睦1日バス旅行	
濱谷 勝 様……………	5
梶原 彰夫 様……………	6
研修・親睦旅行のまとめ、福祉事業案内……………	7
会員継続等のご案内／お問い合わせ先等……………	8

令和2年2月10日

〒849-0916 佐賀市高木瀬町大字東高木227-1
佐賀県教育会館内
電話 0952-31-4768 FAX 0952-31-4772
E-mail : saga@nikkyoko.or.jp
HP : <http://www.kyoko-saga.jp>

- 編集 公益財団法人
日本教育公務員弘済会佐賀支部
- 発行 株式会社 佐賀教弘

ごあいさつ



今年は、子年です。十二支のサイクルのスタートであり、植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期で未来への大きな可能性を感じさせる年です。

昨年も、台風、大雨などの自然災害が全国で発生した年です。佐賀でも8月28日を中心とした豪雨で大町町や武雄市東部などで多くの被害が出ました。また、台風15号や19号により多数の県や地域で被害があり、多くの皆さんが被災されました。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を共に願うものです。

昨年の友の会研修旅行は、「1日バス旅行」で佐世保方面に行ってきました。「海きららと九十九島遊覧」「絶景を望みながらのランチブッフェ」そして「森きらら動植物園」を周りました。参加者の皆さんからは、『子どもの時以来行く場所で楽しみ』とか『クルーズであちこち周ったがここだけは行ってなかった』『昔この近くに住んでいたの思い出を確かめたい』などの声が聞かれました。時期的にちょっぴり寒かったですが、それ以上に童心に帰った気持ちになることができました。詳しい様子は、参加された皆さんの紀行文をご覧くださいと思います。泊を伴う研修旅行は、残念ながら中止となりました。

また、4回目となった11月の「ふれあい食事会」には46名の参加を得て大盛況のうちにグランデはがくで実施しました。年々参加希望が多くなり、今年度は初めて抽選を行いました。食事の後は、「ピッコロ」のみなさんによるオカリナの生演奏を楽しみました。「故郷の人々」「青い山脈、高原列車は行く」などなじみのある曲で一緒に歌ったりして楽しいひとときを過ごすことができました。

さて、弘済会佐賀支部は「佐賀県の教育の振興と教職員の福祉向上」を目ざして今年も努力と精進をしていく所存です。昨年、「貸与奨学金」「給付奨学金」「奨励金」「へき地学校等教育支援事業」「学校研究助成事業」「花いっぱい事業」「講師・指導者招へい事業」なども多くの学校や園から喜ばれました。夏休みを中心に行っている学校での「事業説明会」でも「弘済会の助成は使い勝手が良い」と好評をいただいています。

これらの事業を展開できるのも多くの皆さまが「教弘保険」に加入し、弘済会を支援していただいているおかげです。おかげさまで、全会員数は、昨年10月末現在で6,441名の75.3%、現職会員数は、5,095名の59.6%となりました。おかげさまで、毎年少しずつ増加しております。「教弘保険」に加入いただくことで教職員やご家族の皆さまには安心と安らぎを、「契約者配当金」ですべての学校や教職員そして児童生徒を対象とする教育振興事業や会員のための福祉事業ができています。この「たすけあいの輪」が65年続いていることに勇気づけられています。弘済会は、学校や園の県内一の応援団として今年も頑張っていきたいと考えています。

今後とも弘済会事業に対し、ご支援とご協力をお願いします。



公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部
支部長 大西久孝

友の会ふれあい食事会

11月19日(金)正午から、今年度で4回目の開催となります教弘友の会ふれあい食事会を、グランデはがくれにて、教弘友の会会員とご家族やご友人の方々の計46名で開催いたしました。昨年度に引き続いての参加者もいらっしゃいましたが、6割以上が新たに参加された方々でした。



開会のあいさつの様子です。

開会あいさつの後に、さっそく食事と歓談が始まりました。

当日のお料理です。今年度は、昨年度の和食の会席料理から洋食のコース料理に変更しました。前菜、スープ、お魚、お肉、デザートのコース料理でしたが、昨年度の参加者の方から、「昨年の和食もよかったけど、洋食の料理は普段食べないから良いわね」と嬉しいお言葉をいただきました。



料理



食事会風景



この食事会は、参加者が1つのテーブルに約6～7名で一緒にお食事と歓談をなさいますが、参加者から「同じテーブルの方々は全然知らない方でしたが、お話をしているうちに自分と同じだなと思いました。他の地区の情報交換の場となり、よかったと思います」とのお言葉もいただきました。

会の終盤には、今回のふれあい食事会のもうひとつのメインになります武雄市の演奏者グループ「ピッコロ」の方々による「オカリナ」の生演奏が行われました。

曲目は、「浜辺の歌」や「瀬戸の花嫁」などの参加者におなじみの曲の演奏や、途中では、「青い山脈」と「高原列車は行く」の2曲をオカリナの生演奏によって参加者全員で合唱と手拍子となりました。



武雄市の演奏者グループ「ピッコロ」によるオカリナ演奏。



そして、会の最後に参加された方々に、アンケートを行いました。

その中から…

- ・主人が誘ってくれて今日おいしい食事会に参加させて頂きました。来年も楽しみにしております。
- ・旧知の方に会えることや親しい二人で久しぶりに食事を楽しむ機会が持てることに喜びを感じています。
- ・オカリナの演奏は哀愁を帯びていてよかった。曲目もなじみのあるものを選んでいただいたのでなつかしく聞かせてもらった。
- ・自分ではできない海外旅行、国内旅行、日帰り旅行など多様な楽しみを作っていただき本当に嬉しいです。今後も様々な企画をお願いします。

などの嬉しい感想や今後の友の会事業へのご意見もいただきました。ありがとうございました。

今回の参加者からいただきました感想やご要望等を生かして、来年度も時期になりましたら募集のご案内をお送りいたしますので、教弘友の会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

教弘友の会研修・親睦旅行 一日バス旅行 九十九島遊覧と 海・森きららと 地中海料理の旅

「九十九島遊覧と海・森きららと 地中海料理の旅」に参加して

佐賀市 濱谷 勝

今回のバス旅行は、九十九島遊覧が入っていたので参加することにした。最初は「海きらら（九十九島水族館）」の見学。大水槽で変幻自在に動くマイワシの大群（約7000匹）は



海きらら到着!

圧巻だった。クラゲシンフォニードーム、BGMが流れる中で光に照らされたクラゲが水槽の中でゆったりと動く様は幻想的で心が癒やされた。この癒やしの空間にしばらく浸っていたかったが、次へと足を進める。クラゲ研究室、ここには珍しいクラゲ（九十九島で新種のクラゲがいくつも発見されている）や下村脩博士（ノーベル化学賞を受賞された）に関するもの等が展示してあった。ここで下村脩博士が九十九島水族館の名誉館長であること、また佐世保市名誉市民・長崎県名誉県民の称号を贈られていることを知る。カブトガニの展示を見てから、イルカのショーを見に行く。数分遅れたが十分楽しめた。イルカとそれを訓練された飼育員の方々に感謝!次は、九十九島遊覧（約50分間）。室内（1階、2階）の良い



イルカのショーで見事なジャンプ!



ようこそ九十九島へ

席は埋まっていたので、屋上（3階）の寒風吹くデッキの上で見ることにした。少々寒かったが、満足できる遊覧だった。長い年月をかけてできた島々の美しい景観を堪能することができた。次は、昼食場所である「弓張りの丘ホテル」に向かう。ホテルに着くと、まずはみんなで写真撮影、美しい九十九島をバックに写真を撮る。さあいよいよ昼食、バイキング料理である。いろいろと食べたいものが目に飛び込んで来る。つい



森きららに到着

午後2時頃到着、集合時間は午後3時。急ぎ足で見て回る。鑑賞温室、熱帯～亜

つい食べ過ぎてしまった。「弓張りの丘ホテル」を後にし、「森きらら（九十九島動植物園）」に向かう。



温室の中へ

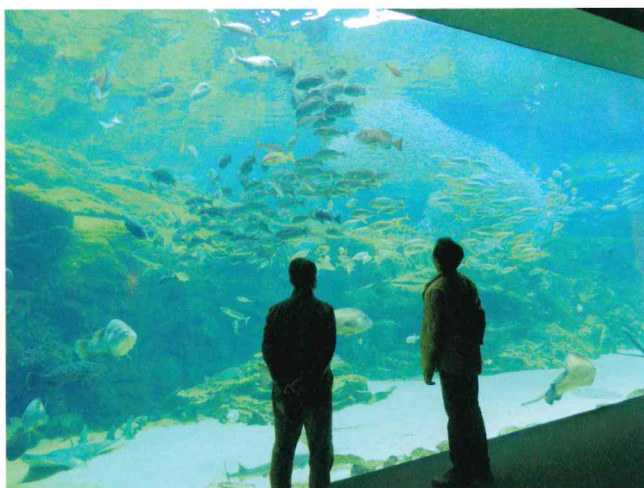
熱帯に生育する植物をたくさん見ることができ、たいへん良かった。カカオその他いろいろな果実がなっていた。ペンギン館、青空をバックに泳ぐペンギンを見ることができた。ミーアキャット、しぐさがとても可愛く、何枚も写真を撮った。「次に来るときがあれば、バラの咲いている時期に妻や孫たちを連れて来たいなあ。」と思いながら「森きらら」を後にした。



空を泳ぐペンギンも

研修親睦一日バス旅行に参加して 小城市 梶原 彰夫

令和元年12月11日、教弘友の会研修・親睦一日バス旅行に参加した。行く先は佐世保九十九島めぐりとその周辺の観光である。近くでありながらあまり行くこともなく、九十九島周辺を訪れるのは小学校4年生?の修学旅行以来だろうか。平成31年3月末で退職した私は妻とこの企画に初めての参加となったが、ほとんどの人がこの3月まで再任用を含め教育現場の第一線で活躍され、退職を機に参加されたとのことで27名の参加者の約半数が初めての参加であり、7組14人が夫婦での参加であった。バスを降りて、九十九島水族館「海きらら」で、国内では珍しい屋外型大水槽の中を



大水槽にて

巨大なエイをはじめこの海域で生息する魚やこの日運び込まれたマイワシが群れで泳ぐ様子、修学旅行の女子高校生と一緒に拍手を送った約10分間のイルカのショー、プレートの名前と実物を見比べながら普段目にしたり食したりする魚や珍しい魚の名前を知るなどまさに童心に戻っての水族館でした。その後、九十九島海賊遊覧船「みらい」に乗船し、50分間、自然が作り出した傑作に暫し時を忘れて見入り、またシャッターを押す姿が多く見られた。その後標高346m弓張岳頂上近くの弓張の丘レストラン「イルマーレ」のbuffetで九十九島を眺めながらの食事、お腹が満ちたところで、九十九島動植物園「森きらら」のよく手入れされ色鮮やかに咲き



いよいよ遊覧船へ



長い年月で浸食されたふくろう岩

ほこるバラ園をはじめとする植物園、ライオン、キリン、サル等々の動物たちには遠い昔の記憶が蘇ってくると共に心を癒された。ただ、帰りの車窓から見た木々は紅葉があまり見られず(紅葉は寒暖差が大きいほど鮮やかだと言われるが)、地球温暖化が確実に押し寄せてきていることを感じた。丁度この時期開催されているCOP25の会議とも相まって日本はもちろん地球規模で地球温暖問題の解決策を講じることが急務であるとともに、私達個人でもできることを真剣に考え



お昼寝中のらいおん

生徒たちに、旅(修学旅行)をより楽しく充実さ



なければいけないことを痛感した。

興奮気味のおさるさん達

せるためには事前の研修、旅行の実際、事後の研修が大切と言ってきたが、私自身は今回の旅の事前研修はしなかったものの、旅行会社のおもてなし、弘済会の皆さんの諸準備、そして、参加された方とのふれあいで身も心もお腹も満喫することができた。あわせてこのような感想まで述べる機会をいただき、旅を振り返ることが出来た。皆さんに感謝です。



遊覧船の前で集合写真

研修・親睦旅行のまとめ

1 令和・東京新発見3日間

応募人数が少なく、中止

2 九十九島遊覧と森きららと地中海料理の旅

ご家庭の事情や健康上の都合で、宿泊を伴う旅行への参加を遠慮されている会員の方もいるのではないかとことから、平成24年度から日帰りバス旅行を始め、今回で8回目となりました。

今回は、募集人数を少し下回りましたが、事務局合わせて総勢27人で出発しました。

まずは、バスの中での恒例の自己紹介から始まり、親睦を深めながら九十九島へ向かいました。午前中は曇り空の中、水族館と九十九島遊覧を楽しみ、午後は天気も回復し動植物園を回りました。初めて参加の方も多くいらっしゃいましたが、満足いただけたのではないかと思います。

3 来年に向けて

来年度の研修・親睦旅行は、「海外」にしようかと検討しております。併せて「日帰りバス旅行」も計画させていただきます。

会員の皆さまからのご意見も取り入れ、楽しんでいただくのはもちろん、和気あいあいとした旅行にしていきたいと考えておりますので、ご意見、ご要望とともにご希望の場所などをお知らせください。

どうぞ、来年度も多数のご参加をお待ちしております。

福祉事業のご案内 ※ 福祉事業に関わる佐賀支部給付基準があります。

宿泊施設利用補助	1泊2,000円補助 利用回数 本人・・・年度8泊 家族・・・年度3泊
各 種 祝 金	結婚・誕生・小学校入学祝金(2号会員を除く。) 各5,000円(1年以内に申請を要する。)
5 年継続記念品	月の初日現在で、教弘保険を5年間継続したとき(2号会員を除く。) 3,000円相当の記念品贈呈(申請不要)
15 年継続記念品	基準日現在で、教弘保険を15年間継続したとき(2号会員を除く。) 5,000円の図書カード贈呈(申請不要)
災 害 見 舞 金	家屋・家財に2分の1以上の被害があったとき(2号会員を除く。) 30,000円(1年以内に申請を要する。)
死 亡 弔 慰 金	会員が死亡したとき(2号会員を除く。) 10,000円
友 の 会 研 修 旅 行 補 助	① 友の会会員が、弘済会主催の研修旅行に参加したとき 本人20,000円補助 同伴家族5,000円補助 ② 友の会会員が、弘済会主催の日帰り研修旅行に参加したとき 補助額は、旅行ごとに異なるため、開催案内で通知
健康増進補助	佐賀県公立学校共済組合が指定する県内外の医療機関で「人間ドック」を受診したときに、 受診料の一部を補助 対象65歳以下の友の会会員(ただし、退職後再任用フルタイム勤務者は対象外) 補助額3,000円(年度1回の受診に限る)
ふれあい 食事会補助	友の会会員の親睦を深めるために、県内で食事を開催し参加費の一部を補助する。 補助額 会員1人につき3,000円 同伴の家族1人に限り2,000円

※福祉事業に関わる佐賀支部給付基準

友の会(退職者)1号会員・・・退職後も教弘保険(52・11)の加入者。ただし、保険種類(11)のうち、口数のない契約は除く。

2号会員・・・教弘保険満期後(52)以外の教弘保険加入者

65歳保障期間満了時に手続きを!! 保障も特典(友の会等)も、80歳まで継続できます。

退職会員『友の会会員』とは

退職後も教弘保険を継続されている方です。

保障期間満了

第1種教弘保険に加入の方は75歳です。

第1種教弘保険以外の教弘保険に加入の方は65歳です。

(但し、新教弘保険K型は5年更新で最長80歳)



65歳からの「新教弘保険K型(5年更新)」加入のおすすめ

65歳をお迎えの方は、保障期間満了時に健康状態の如何にかかわらず、既加入の教弘保険の死亡保険金の範囲内で「新教弘保険K型(5年更新)」に加入することができ、80歳まで引き続き友の会の特典を受けることができます。(5年更新後の保険料は更新日現在の被保険者の年齢及び保険料率によって計算します。)

保障期間満了2か月前にジブラルタ生命からご案内しますので、手続きを行ってください。

なお、保険の種類によっては教弘友の会会員資格を失う場合がありますので、お手続きなど含め詳しくは、最寄りのジブラルタ生命各営業所へお問い合わせください。

教弘保険についてのお問い合わせは

共済事業(提携保険事業)

提携保険会社:ジブラルタ生命保険株式会社

教職員専用ダイヤル 通話料無料 0120-37-9419

平日9:00~18:00 土曜9:00~17:00(日曜・祝日・12/31~1/3を除く)

ジブラルタ生命保険株式会社佐賀支社各営業所の所在地及び電話番号

営業所	所在地	電話番号
佐賀第一営業所	840-0801 佐賀市駅前中央1-10-37佐賀駅前センタービル4F	0952-26-5410
佐賀第二営業所	840-0801 佐賀市駅前中央1-10-37佐賀駅前センタービル7F	0952-27-0900
佐賀第三営業所	840-0801 佐賀市駅前中央1-10-37佐賀駅前センタービル7F	0952-27-0900
伊万里営業所	848-0041 伊万里市新天町488-14アートヴィラ2F	0955-23-3449
唐津営業所	847-0816 唐津市新興町174番ヤマトビル3F	0955-72-2291
鹿島営業所	849-1311 鹿島市大字高津原4288-1EFKビル1階	0954-62-3090